

Yonaguni Island

よなぐに  
島ぐらしガイド 

移住サポートBOOK

島のかたち  
に、

暮らしを  
重ねる。



What is Yonaguni Island?

# よなぐに島のこと

日本最西端の島、与那国島。

断崖絶壁とヨナグニブルーの海が織りなす美しい景観。

在来馬であるヨナグニウマの放牧。

花酒、与那国織、クバの葉の民具。

地域行事が受け継がれ、

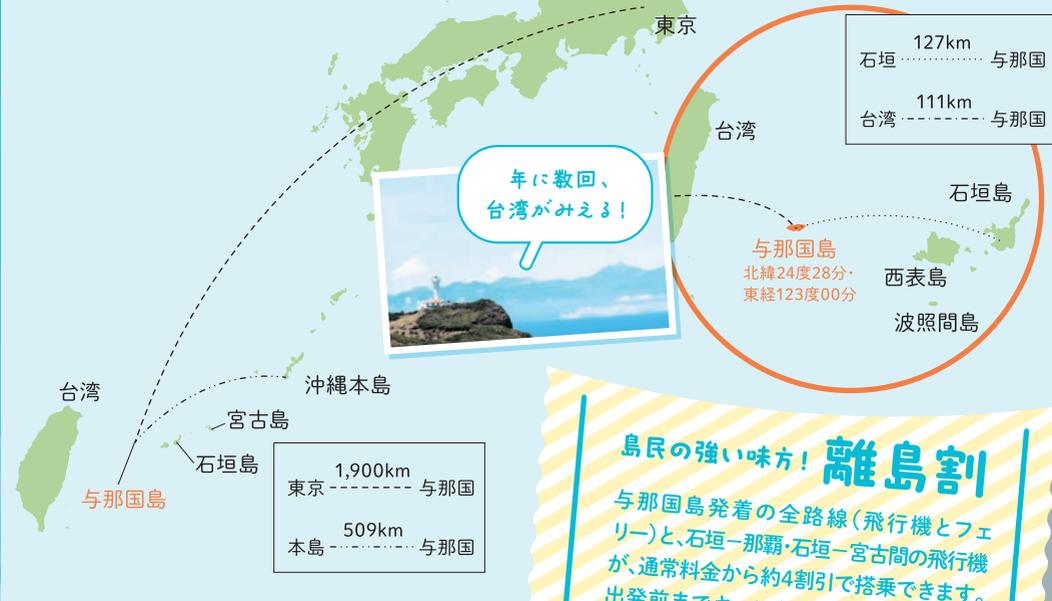
ここにしかない独自の文化があります。

与那“国”という、

まるでひとつの国のような濃さが魅力です。

## 与那国町基本DATA

与那国町／与那国島一島で構成  
 人口／1,660人(2025年9月末現在)  
 世帯数／1,017世帯(2025年9月末現在)  
 面積／28.96km<sup>2</sup>  
 周囲／27.49km(東西12km・南北4km)  
 町魚／カジキ 町鳥／メジロ  
 町花／テツポウユリ 町花木／サルスベリ  
 沖縄県指定天然記念物／アヤマヒバビル  
 与那国町指定天然記念物／ヨナグニウマ



## Access

### 琉球エアコミューター(RAC)

- 沖縄本島(那覇空港) ⇄ 与那国島(与那国空港)  
所要約80分／1日2往復
- 石垣島(石垣空港) ⇄ 与那国島(与那国空港)  
所要約30分／1日3往復

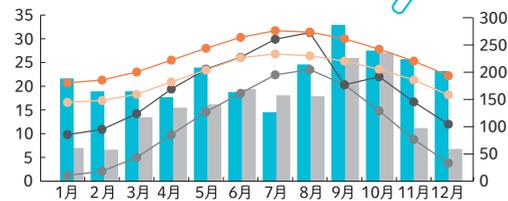


### フェリーよなくに

- 石垣島 ⇄ 与那国島  
所要約4時間／週2便

## 気候

沖縄は常夏のイメージがあるかもしれませんが、与那国島の冬は雨の日が多く、すっきりしない天気が続きます。風がつよく(風速10mはザラ!!)体感気温が下がるため、ダウンが重宝します。



亜熱帯気候  
 年間を通して湿度70%以上!  
 革製品はカビが生える可能性大

降水量  
 与那国島 東京  
 ※気象庁HPより。統計期間(1991~2020)

## キニナル台風事情

台風シーズンは、夏から秋。台風の影響で船が欠航し物資の輸送ができなくなると、商店から食料品がなくなります。島民は、普段から台風対策をしています。

### 台風接近数

	沖縄地方	関東甲信地方
2024	8	3
2023	6	2
2022	6	2

※気象庁HPより

### 台風対策

- 万が一の停電に備え、懐中電灯を準備
- 乾パンや缶詰などの食料品や飲料水を常備しておく

## CONTENTS

- 01-02 …… よなぐに島のこと
- 03-04 …… よなぐに島MAP
- 05-06 …… よなぐにの暮らし

- 07 …… よなぐに島ごよみ～地域行事とイベント～
- 08 …… 移住までのSTEP
- 09-10 …… 移住者の声! あつめました

# よなぐに島 MAP

与那国島ってどんなとこ??



- 祖納、久部良、比川の3つの集落があります
- 島の一周道路は約25kmで、名所をめくりながら回ると車で2時間程度。各集落から空港までは、車で約15分の距離!



日本最西端の碑



ティンダバナ



日本で最後に沈む夕日



日本最西端の碑



西崎展望台

## 久部良

漁港がある漁師町で、フェリーよなくにの発着場所もココ。カジキが水揚げされる光景を目にすることもああるかも!?



カジキの水揚げ

テキサスゲート内の道路は、馬の生活の場。馬が道路を塞ぎ、車が待つこともしばしば



南牧場線



馬渋滞

## 祖納

町役場や診療所がある島の中心地。与那国島で一番大きな集落で、人口も島内で一番多い。



崎原商店

祖納港

生活雑貨の店ふく

まさえ商店

うぶた又はまてい (通称:六畳ビーチ)

うぶた又はまてい (通称:六畳ビーチ)

ティンダバナ

交番

与那国町役場

与那国中

与那国小・幼

## 祖納

テキサスゲート

東牧場

東崎

テキサスゲート



立神岩

237m 島内最高峰

馬牛の放牧地の出入口にある溝で、人間の生活の場との境界線。放牧されている馬牛が、牧場外に出られないようにする工夫です



テキサスゲート



ヨナグニウマ

体高110~120cmと小柄。穏やかな性格

## 比川

人口100人ほどの小さな集落。ドラマ「Dr.コトー診療所」のロケセットが、観光スポットになっています。



## 移動手段、どうしてる?

坂道が多いので、自転車なら電動が◎。日常的には、小回りの利くバイクが重宝します。大きな荷物を運ぶことや、雨の日を考えると車が便利。また、各集落を結ぶ無料の生活路線バスもあります。



## 買いもの

スーパーやコンビニはなく、島内での買い物は各集落にある商店で。船の入港日は品揃えが豊富になるので、商店が賑わいます！乳製品やパンなどの人気商品はすぐ品切れになるため、取り置きも対応してくれます。



とれたて島野菜が並びます  
お肉は冷凍モノ  
島内で作ったお弁当もあります  
生活用品もほぼば揃います

- 輸送コストがかかるため、本土に比べ物価は高いです。
- オイシックスやAmazon(プライム対象商品は離島も配送料無料!)など、ネットショッピングを利用する人もいます。週に1回届く生協は、ファミリー層に人気です。

商店は島内に6軒、ATMは3カ所



## 住まい

与那国島には不動産屋がありません。家賃は、比較的新しいアパートだと5万円台～8万円台後半、個人が管理している家に関しては大家さん次第です。また、慢性的に住宅不足の状況が続いています。移住第一歩目のサポートとして、町が管理する移住定住促進住宅があります。

### 移住定住促進住宅

#### 祖納

与那国町移住定住促進住宅

- 2DK(4棟)  
家賃 30,000円  
(管理費5,000円)  
入居期間 2年間
- 3LDK(1棟)  
家賃 40,000円  
(管理費5,000円)  
入居期間 2年間



#### 久部良

古民家活用型定住促進住宅

- 体験型(共同型)定住促進住宅(1棟)  
家賃 15,000円(1人あたり)  
入居期間 半年以上1年未満  
※シェアタイプの住宅になります
- 家族型定住促進住宅(1棟)  
家賃 35,000円  
入居期間 1年以上3年未満  
※中学生以下の子供がいる方が優先



## 生活費(目安)

### 水道光熱費

	単身	ファミリー(4人)
電気	4,000円～12,000円	25,000円～35,000円
上下水道	1,500円～2,000円	3,500円～4,500円
ガス(プロパン)	2,000円～6,000円	7,000円～9,000円

※家族構成やライフスタイルで金額は変わります

### ガソリン代

1Lあたり・・・180円～200円

ガソリンスタンドは島内に4カ所



## 教育

- 保育所・・・2(1所休所中)
- 中学校・・・2
- 幼稚園・・・3(2園休園中) ※2026年3月時点
- 小学校・・・3

@KOSODATE4792

- 保育園の保育料は、所得に応じて金額を設定しています。
- 幼稚園は入園無料(教材費は有料)です。
- 幼稚園の牛乳と小中学校の給食費無償化!
- 休所中の久部良保育所は、週3日、子育て支援センター「あがみパーク」としてOPEN! 未就学の子供と保護者が遊べる場所になっています。
- 受講無料の町営塾があります。  
(テキスト代別途。対象:小学4年生から中学3年生)



## 仕事

### 漁業

- カジキマグロ漁
- クルマエビ養殖  
※漁師育成プログラムがあります

### 観光業

- マリンスポーツ関連
- 飲食業
- 宿泊業

### 農業

- さとうきび
- 水稻
- 長命草
- パクチー
- 肉牛

### その他

- 役場職員
- 専門職(看護師、保育士)
- 自衛隊基地内での仕事
- 二次産業(泡盛、塩、与那国織)

### 15の春

高校がないため、中学卒業後は那覇や石垣島の高校へ。15歳で親元を離れることになります。

## 医療・福祉

- 診療所・・・1
- 介護施設・・・1  
※2026年3月時点

- 眼科や耳鼻科、皮膚科などの専門外来は不定期で診療。完全予約制です。
- 0歳から高校3年生までの保険診療が無料になる、こども医療費助成制度があります。
- 島に歯科医院はありませんが、島外へ歯科受診の際の渡航費助成があります(年度内4回まで)。



## 地域行事とイベント

# よなぐに島ごよみ

月の満ち欠けと太陽の動きを組み合わせた旧暦は、古くから農作業のタイミングを計る基準にもなっていました。そのため、農耕の区切りと結びついた伝統行事や祭事は、今も旧暦に基づいて行われています。



豊年祭



ウラマチリ



ハーリー(海神祭)



エイサー(旧盆)



- 1月 旧暦 11月頃
    - ・ンマナガマチリ
    - ・ンダンマチリ
    - ・アンタドゥミ
  - 2月 旧暦 1月16日
    - ・ドゥルクニティ (十六日祭)
  - 6月 旧暦 5月4日
    - ・ハーリー(海神祭)
  - 7月 旧暦 6月頃
    - ・豊年祭
  - 8月 旧暦 7月13日～15日
    - ・エイサー(旧盆)
  - 11月 旧暦 10月頃
    - ・シティ祭(節祭)
    - ・金比羅祭
  - 12月 旧暦 10月頃
    - ・クブラマチリ
    - ・ウラマチリ
    - ・ンディマチリ
- ※旧暦のため、新暦での開催月が異なる場合があります

### 鳥をあげての2大イベント

日本最西端与那国島 国際カジキ釣り大会



7月第1金・土・日曜日

日本最西端与那国島 一周マラソン大会



11月第2土曜日

### 自治公民館というコミュニティ

与那国島には5つの自治公民館があり、行事や伝統芸能など、地域活動の拠点になっています。公民館費を集め、行事や維持管理に使用。公民館は、祖納集落に3つ(東・西・嶋仲)、久部良集落と比川集落に1つずつ。館長、副館長、役員が主体となり、住民が交流を深めています。町内のスポーツ大会時は、さらに細かく島全体を9地区に区分けし盛り上がります!



## 移住までの Step

- 1 家族に相談しよう
 

パートナーや子どもと、移住の目的や移住後のプランをしっかり話し合しましょう。家族全員が移住を望んでいることが、移住への第一歩です。
- 2 情報をおつめよう
 

与那国町のホームページや移住情報サイトなどで情報収集しましょう。疑問点は、移住相談窓口にご相談ください。
- 3 移住先に行ってみよう
 

百聞は一見に如かず! 移住前に必ず現地へ足を運んでみましょう。移住後のミスマッチを防ぐことにも繋がります。
- 4 仕事を探そう
 

どんな仕事に就くか、どんな働き方をするのも、移住の重要なポイントです。仕事が決まっていなくて、住まいを借りられない場合もあります。
- 5 住まいを探そう
 

周辺環境なども踏まえて、家を探しましょう。町が管理する移住定住促進住宅は、空室が次次第、移住情報サイトなどで募集案内をします。
- 6 引っ越し&島ぐらしスタート!
 

無事に引っ越しが済んだら、まずはご近所さんに挨拶を。行事には積極的に参加するよう心がけ、地域の一員になりましょう。人の輪を広げ、充実した島ライフ!

## お試し島ぐらしができる! オーダーメイド型 移住体験プログラム

与那国町では、移住希望者へ事前にヒアリングを行い、個々に合わせた移住体験プログラムを実施しています。移住先との相性はとても大切。生活目線をもって滞在し、観光とは違う島のリアルを肌で感じてみませんか?

### こんな人に移住してきてほしい!

- 島の生活習慣や文化を理解し、尊重してくれる人
- 行事に積極的に参加し、地域の一員になってくれる人
- 得意分野を活かし、地域に貢献してくれる人

#### 参加資格

与那国町の移住・定住相談窓口等で事前に移住相談を受けた方

#### 滞在期間

1回の申請につき原則3泊から14泊

#### 体験料

大人1名1泊につき2,500円  
 小人(6~12歳)1名1泊につき500円  
 ※滞在中は移住体験施設に宿泊

#### 移住体験施設



#### 島民との交流会



#### 住宅見学



#### 保育所見学



〈移住のキッカケ〉

学生時代から沖縄が大好き！与那国島に降り立った瞬間ビビッときて、民宿に拠点置きながらバイト生活を始めました。その後、資格を生かした仕事ができることになり移住を決断。島生まれの夫と知り合い結婚しました。

〈移住してよかったこと〉

時間に追われず、いつも気持ちに余裕があること。顔がみえる人間関係で安心感があること。

〈移住して大変だったこと〉

地域の人々が力を合わせて行う法事など冠婚葬祭。大変ではあるけれど、「ゆいまーるの精神」で成り立つ関係が、都会にはない素敵なことだと思います。

〈休日の過ごし方〉

地域行事や学校行事。犬の散歩をしたり一緒にゴロゴロしたり。子どもが大きくなったので、一人の時間が増えました。

〈よなぐにMyパワースポット〉

東崎

景色が素晴らしく、いつも元気をもらえる場所



Iさん  
2008年に移住  
40代女性／東京都出身  
家族構成：5人(夫婦+子ども3人)

〈移住のキッカケ〉

趣味のダイビング目的で島を訪れ、海に入った瞬間に、「あっ！ここだ！」と感じました。

〈移住してよかったこと〉

- ①Specialな自然と動物
- ②島人のやさしさや文化、伝統に触れることができる
- ③交流シェア畑や町のイベントがすごく楽しい

〈移住して大変だったこと〉

住居さがし！移住して1年間で3回引っ越し、現在の家が4軒目(職場の寮)。家が見つからず、知人のコンテナを間借りして暮らしたこともあります。

〈休日の過ごし方〉

ヨガ、交流シェア畑、ダイビング。与那国島一周マラソン大会を走るランナーの姿に感化され、マラソンチャレンジ検討中です。

〈よなぐにMyパワースポット〉

サンニヌ台

ヨガをしながら拝む朝日からエネルギーをもらえます！



Rさん  
2024年に移住  
50代女性／福岡県出身  
家族構成：単身

〈移住のキッカケ〉

第2の人生を考えていた頃、YouTubeで与那国島の存在を知りました。若い頃に乗馬経験があり、馬が放牧されているこの島に興味を持ちました。

〈移住してよかったこと〉

空も海も空気もきれい！1年中、馬と暮らせること。馬の餌に困らないこと。

〈移住して大変だったこと〉

物価が高く、思い通りのものが手に入らないこと。

〈休日の過ごし方〉

朝から1日中、自分の馬と遊ぶ。仕事の日も、出勤前に1時間、勤務後に2〜3時間、馬と散歩しています。

〈よなぐにMyパワースポット〉

人面岩がある遊歩道

木々が生き茂り、木漏れ日がとてもいい感じ



Sさん  
2018年に移住  
70代男性／東京都出身  
家族構成：単身



〈移住のキッカケ〉

観光で島を訪れた際、島のおじいちゃんが作った民具に一目惚れ。「住まないと作れないよ」と言われ、移住して弟子入り。民具づくりを習い、今の仕事になりました。

〈移住してよかったこと〉

好きなことを仕事にすることができて、自分らしく生きる生活ができています。島全体が子どもにやさしい雰囲気です。

〈移住して大変だったこと〉

欲しいものや必要なものがすぐには手に入らないこと。また、専門医が常駐していない、歯科医院がないなど、医療面への不安があります。

〈休日の過ごし方〉

子どもと一緒に、海辺を歩いて漂流物さがし。拾ったモノは、作品にも取り入れています。

〈よなぐにMyパワースポット〉

北牧場

日本ではないどこかに迷い込んだような不思議で美しい場所



Cさん  
2012年に移住  
40代女性／茨城県出身  
家族構成：3人(夫婦+子ども1人)



# 移住者の声！

# あつめました

〈移住のキッカケ〉

与那国島の虜になり、約3年通いました。島の人たちと知り合い、島独特の祭事への参加を通して、住みたい！という気持ちが芽生えました。

〈移住してよかったこと〉

公民館活動への参加。地域行事は準備段階から関わり、館民がひとつの大家族のよう。都会にはない経験ができます。

〈移住して大変だったこと〉

船積み荷物の手配など、引っ越し時は勝手が分からず大変でした。移住前に知り合った島の方が助けてくれて、やさしさが身に沁みました。

〈休日の過ごし方〉

「走る」「料理」「飲み会」。ランニングは夫と共通の趣味。飲み会は、仲間と一品持ち寄り、家飲みが多いです。

〈よなぐにMyパワースポット〉

東崎・南牧場・ナンタワ

朝RUN後にナンタワ浜へ、そのまま海へドボン。癒しのひととき



Yさん  
2023年に移住  
40代女性／東京都出身  
家族構成：2人(夫婦)

〈移住のキッカケ〉

観光で訪れた際に、島の人たちの温かさや生き生きとした暮らしぶり、気候や環境に魅了されました。ココで暮らしてみたいと思い、沖縄県離島町村職員採用共同試験に応募しました。

〈移住してよかったこと〉

便利な都会に住んでいた頃には気づけなかった「当たり前」の尊さを感じられること。多くの人に支えられ生きていると実感できること。

〈移住して大変だったこと〉

欲しいものがすぐ手に入らない不便さがありますが、今では暮らしの一部として愛おしく感じています。

〈休日の過ごし方〉

資格取得のための勉強や、移住後に購入した三線の練習をしています。

〈よなぐにMyパワースポット〉

ティンダバナ

心地よい風にも悩みも吹き飛ばす、ゆったりのにびりできる場所



Iさん  
2025年に移住  
30代男性／茨城県出身  
家族構成：単身



〈移住のキッカケ〉

国内外を旅しながら働く中、与那国島へは2010年頃からサトウキビ収穫の仕事で通うようになりました。知り合いも増え、妻とも出会い、2015年に移住を決めました。

〈移住してよかったこと〉

通勤片道3分、1日3〜4時間トクした気分！また、島の人の子供の顔を知ってくれているので、島全体で子育てしてもらっているような安心感があります。

〈移住して大変だったこと〉

良くも悪くも人との距離が近いこと。“常に見られている”と感じるか、“安心感”と捉えるかは人それぞれだと思います。

〈休日の過ごし方〉

夏は朝はやくから毎週のように家族でピクニックへ。場所は、海辺や公園にある東屋！海で泳いだり、山で虫取りやハイキング、図書館にも行きます。

〈よなぐにMyパワースポット〉

南牧場線

人工物のない海岸線の風景がお気に入り！



Oさん  
2015年に移住  
40代男性／北海道出身  
家族構成：5人(夫婦+子ども3人)



## Oさんの、とある一日

- 4:30 起床  
家事や趣味のランニング
- 6:30 仕事へ  
自営業のため、仕事おわりは15:00〜17:00頃と、日により変わる。すきま時間でDIY！  
仕事のあとは、趣味の時間 or 子どもと遊ぶ
- 19:00 夕食  
家族団らん
- 21:00 就寝

# あるある 12選



1

馬の群れが道路を塞ぎ車が通れない  
“馬渋滞”がある!馬が移動するまで待つ、  
馬にやさしい島

フガラッサ



2

チス(師匠)、ダグサ(役員)etc...  
独特のよなぐにの方言がある

チス



3

スポーツが盛ん!  
町の陸上大会や駅伝大会、  
球技大会は、  
大人も本気!



4

地域行事、スポーツ大会、  
草刈り。イベント後には必ず  
バリヌシ(おつかれさま会)



5

家と職場が近い。  
お昼休憩は  
ほとんどの人が帰宅、  
自宅ランチ



6

お酒好きだけど、ビールは  
精質0プリン体0が主流



7

塩害でサビサビの  
車が元気に走ってる~



8

行事たくさん!庭の草刈り。  
島の日常は意外と忙しい

9

十五夜は、庭先にお供えをしてお月見



10

都会の人が電車に乗る感覚で、  
島民は飛行機に乗る。

飛行機が  
生活路線



11

道案内、  
左右ではなく  
東西南北



12

冠婚葬祭、金額相場は  
¥3,000



与那国町  
公式HP



与那国移住  
情報サイト



移住定住  
Instagram  
@YONAGUNI\_UJI



はし、はじまり、つなぐ島  
日本最西端、与那国

移住相談窓口(与那国町役場 企画財政課) ☎0980-87-3577



この印刷製品  
は、環境に配慮  
した資材と工場  
で製造されて  
います。



ミックス  
紙 | 責任ある森林  
管理を支えています  
FSC® C166756